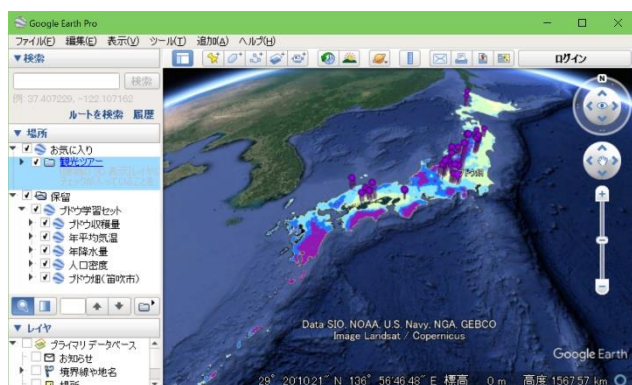


小専社会第 7 回 Google Earth で見る主題図と空中写真の作業内容と手順

○作業内容：PC で Google Earth Pro の主題図と空中写真を見て、日本の農業を調べる。

○手順：

- ①PC のブラウザで「Google Earth で見る地図教材のページ」を開いて、「農業」のページにある「ブドウ」の「ブドウ学習用」の青いボタンをクリックして、「ブドウ学習用」ファイルを開く。自動で保存されてしまった場合は、保存されたファイルを開く
- ②そうすると、GoogleEarth が起動して、市町村別ブドウ収穫量について、収穫量上位 30 市町村が立体で表示される。
- ③この「ブドウ学習セット」には、ブドウ収穫量上位 30 市町村を立体で表す主題図だけではなく、年平均気温、年降水量、人口密度、ブドウ畑の事例、を、それぞれ表す主題図を含んでいる。起動時には、すべての主題図が表示されており、最初は、ブドウ収穫量上位 30 市町村を立体で表す主題図以外は不要なため、下の図の、画面左部分にある「場所」の、「ブドウ学習セット」の下「ブドウ収穫量」以外のチェックボックス (☒) をクリックして、チェックされていない状態 (☐) にする。



- ④立体で表示されたブドウ収穫量的主題図を見て、ブドウ収穫量の分布の特徴を読み取り、別紙に記入する。
- ⑤年平均気温の主主題図を表示して、年平均気温とブドウ収穫量の分布との関係を読み取り、別紙に記入する。
- ⑥年平均気温の主主題図を非表示して、年降水量の主主題図を表示して、年降水量とブドウ収穫量の分布との関係を読み取り、別紙に記入する。
- ⑦年降水量の主主題図を非表示にして、人口密度の主主題図を表示して、人口密度とブドウ収穫量の分布との関係を読み取り、別紙に記入する。
- ⑧人口密度を表す地図を非表示にして、ブドウ畑（笛吹市）の主主題図を表示して、「ブドウ畑（笛吹市）」と書かれた部分をダブルクリックすると、笛吹市のブドウ畑の上空に移動するので、上空から見たブドウ畑の特徴を読み取り、別紙に記入する。
- ⑨ブドウ畑のストリートビューを表示して、地上から見た耕地の特徴を読み取り、次ページの表 2 に記入する。
- ⑩収穫量の分布を参考にして、他地域のブドウ畑を探して、ブドウ畑が見つかったら、その特徴を読み取り、別紙に記入する。
- ⑪以上の結果を基に、ブドウはどんなところで生産されているか？を考えて、別紙に記入する。
- ⑫以上のような作業を、ブドウ以外にも 2 品目以上選んで行う。

ミカンの生産地の事例

	ミカン
(1) 収穫量の分布	・上位 30 市町村は、東海から九州に分布しており、日本の南部に偏っている。 ・それらの市町村の多くは、海に面している。 ・上位 30 市町村は、北陸、東北、北海道など、日本の北部にはない。
(2) 背景となる自然・社会環境との関係	・上位 30 市町村のほとんどは、年平均気温が 15℃～17.5℃の地域にある。 ・上位 30 市町村は、年降水量が 2500 mm を超える地域にも、1000 mm を下回る地域にもある ・上位 30 市町村は、人口密度が極めて高い地域にはないものの、それ以外の様々な人口密度の地域に分布する。
(3) 耕地の特徴	・ミカン畑は、明るい色の地面に、緑色の点あるいは線が、整然と並んでいる。 ・ミカン畑は、平野ではなく、山地の平野に近い部分にみられる。 ・和歌山県有田川町では、平野にもミカン畑があった。
(4) どんなところで生産されているか？	ミカンは、日本の中では暖かい地域にあたる、年平均気温が 15℃～17.5℃の地域で生産されている。そのような地域の中でも、特に、山がちな地形のところで生産されていることが多い。